

総務民生常任委員会報告・環境教育常任委員会報告

委員長 美谷 芳昭

委員長 原田 健志

所管事務調査を行いました。

11月8日 高知県 梼原町

11月9日 高知県 津野町



梼原町・津野町は高知県の中西部、愛媛県との県境に位置し、山地・森林が90パーセントを占める山間の町です。

梼原町は自然エネルギーを活かした取り組み、津野町は森林セラピーなどの取り組みを行っており、能勢町議会ではこれらの先進的な取り組みに対して所管事務調査を行いました。

梼原町

梼原町は風・森・光・水などの自然のエネルギーを活かしたまちづくりをされています。

- ・ 風力発電の売電益を、環境整備基金に投入し、CO₂削減等へ補助。
- ・ 木質バイオマス循環プロジェクトとして間伐ペレットを使用。
- ・ 町内河川6メートルの落差を利用した小水力発電。

など、町内に住まわれている方の身近な空間で町の取り組みを示す事で、町全体で自然エネルギーへの関心が高い。

【成果】設備が良いかではなく、その地、その地に適した地域エネルギーをとらまえる事が大事である。最良の風車も風がなければ…、最良の小電力も安定した水量がなければ…といったことをふまえて、梼原町の取り組みをそのまま真似て取り入れるのではなく、能勢町で自然エネルギーを活かした取り組みをするならばどのようにしていくべきかについて、おおいに参考となりました。



津野町

津野町は豊かな自然に森林セラピー*を取り入れ活かす取り組みをされています。

日本三大カルストのひとつ四国カルストにおいて、天狗荘という施設を拠点とし、350ヘクタールのセラピーエリアにヒノキのチップを敷きつめた森林セラピーロードが整備されていました。

『何もしないをしに来て下さい』といわれるセラピーロードの説明を受け、実際に案内していただき、ただ自然を整備して歩きやすいハイキングコースにするといった事だけではない、癒しという効果を上げる取り組みについて話を伺いました

【成果】能勢町の自然（例えば、旧野外活動センター跡地 等）を観光資源とするなどの取り組みを進めていく事において、検討を深める際に大いに参考となりました。



*森林セラピーとは、感覚的にいわれている森林の癒し効果に科学的な分析をし、より癒しの効果を効果的に受けられるよう環境を整えたもの。